

2014年度 前期	リフレクションペーパー
-----------	-------------

学科名	生物環境・電気通信・情報学科						
科目名	TOEIC英語I						
科目区分	リテラシー科目	単位数	1単位	開講時期	3年次前期		
必修・選択の別	選択必修						
担当者	田吹 香子						
授業の到達目標 (シラバスから)	TOEIC 本試験で300点以上取得を目標とする。そのために、まずはTOEICの試験形式を知ることから始め、TOEICの問題の中の社会生活に必要なコミュニケーションの情報の取得能力を実践と共につけてゆくこととする。具体的には、語彙を増やすこと、文章を読む(聴く)力をつけること、全体の内容を把握する力をつけることに焦点を当て、復習テストなどで学習した内容を定着させていく。						
日程と内容	<p>木曜日 1限</p> <p>第1回: TOEICとは・試験の構成 他 第2回: Unit 1: Eating Out 第3回: Unit 2: Travel 第4回: Unit 3: Amusement 第5回: Unit 4: Meetings 第6回: Unit 5: Personnel 第7回: Unit 6: Shopping 第8回: TOEICミニ模擬テスト 第9回: Unit 7: Advertisement 第10回: Unit 8: Daily Life 第11回: Unit 9: Office Work 第12回: Unit 10: Business 第13回: Unit 11: Traffic 第14回: Unit 12: Finance and Banking 第15回: 期末試験模擬演習 第16回: TOEIC IP TEST (期末試験)</p>						
成績評価基準	定期試験	100%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題 演習		計		100%		
授業到達目標の達成度	TOEIC形式を知る: 達成した 語彙を増やす: 達成した 文章を読む(聴く)能力をつける: やや達成した TOEIC300点以上取得: やや達成した						
反省点	TOEIC形式を知る: 達成した 語彙を増やす: 達成した 文章を読む(聴く)能力をつける: やや達成した TOEIC300点以上取得: やや達成した						
来年度の計画	予習・復習する姿勢をまずつけさせること。スコアを少しでも上げるよう、学習機会を増やすこと。						
授業評価アンケートに対するコメント	復習用の単語帳を作るようアドバイスし、例年通り実戦形式のミニテスト(60分)と回答のコツの解説を2回行ったので、学生はTOEICの全容を理解できたようだ。実戦用問題集をプラスし、リーディングの宿題を出すなど学習の機会を授業外でも設けられるようにしたので、おおむねコメントは肯定的だったようだ。ただ、大人数の授業なので、音響やプリントを配布する時間などに不満を持った者もいたようだ。						
履修登録者数	86名	定期試験 受験者数	54名	合格者数	27名	合格率	50%